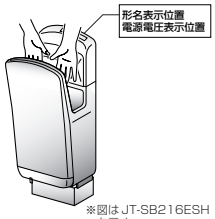
MITSUBISHI

0906873HL9002

ハンドドライヤー **ジェットタオル**®
形 名
JT-SB216ESH（ヒーター付） 単相200V専用
JT-SB216GSN（ヒーターなし） 単相200V専用



※図は JT-SB216ESH を示す

据付工事説明書 販売店・工事店さま用

据付工事を始める前に必ずこの据付工事説明書をお読みになり、正しく安全に据付けてください。
据付工事は販売店さま、または専門の工事店さまが実施してください。

別 売 品	接 続 工 事
ヒーターユニット（JP-210HU-H）：JT-SB216GSN のみ	ジェットタオル本体を固定した後
スタンド（JT-SB216GSN 用：JP-S21FS-H、JT-SB216ESH 用：JP-S10FS-H、JT-SB216GSN ＋ JP-210HU 用：JP-S06FS-H）、自動ドア連動回路ボックス（JP-100RD）、タイマー受信ユニット（JP-TU01）	ジェットタオル本体を固定する前

※詳しくは JP-210HU-H、JP-S21FS-H、JP-S10FS-H、JP-S06FS-H、JP-100RD、JP-TU01 の据付工事説明書または取付工事説明書をお読みください。

別冊の「取扱説明書」・「使い方シール」はお客さま用です。必ずお渡しください。

安全のために必ず守ること

●誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告 誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止

●**塩害地域、腐食性ガス・中性ガス・還元性ガスが存在する場所には据付けない**
故障の原因となります。

●**電源ケーブルを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしない**
また、重い物を載せたり、挟み込んだりしない
電源ケーブルが破損し、火災、感電の原因となります。

分解禁止

●**本説明書に記載されていない分解や改造はしない**
火災、感電、けがの原因となります。

●**ヒーターの取り外しはしない（JT-SB216ESH のみ）**
火災、感電、けがの原因となります。

風呂シャワー室での使用禁止

●**浴室など湿気の多い場所や、結露する場所、直接水のかかる場所には据付けない**
感電、故障の原因になります。

アース線接続

●**アース（D 種接地）工事を確実に実施する**
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
※アース線（銅線直径 1.6 ㎜）はお買上げの販売店などでお買い求めください。

指示に従う

●**単相 200V を使用する**
間違った電源を使用すると火災、感電、故障の原因となります。

●**配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って確実に行う**
屋内配線の場合は専用配線とする
誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります。

●**漏電しゃ断器を必ず取り付ける**
感電するおそれがあります。
※漏電しゃ断器推奨品（地絡保護用）
三菱電機製 NV-G2N
（単相 2 線式、定格電圧 AC100-200V 両用、定格電流 30A，定格感度電流 15mA タイプ）

⚠注意 誤った取り扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止

●**製品（電源ケーブル）に通電した状態で据付工事をしない**
感電するおそれがあります。

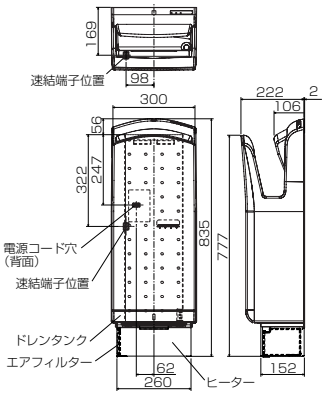
指示に従う

●**本体の据付工事は、十分強度のあるところを選んで確実に行う**
落下によりけがをするおそれがあります。

●**据付けの際は手袋を着用する**
着用しないとけがをするおそれがあります。

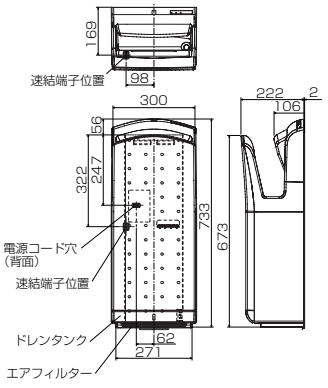
各部のなまえと外形寸法図

■JT-SB216ESH（ヒーター付）



付属部品
取付板固定ネジ……6 本
（5 × 30 タッピング 1 種）
取付板……1 個
クリップ……1 個

■JT-SB216GSN（ヒーターなし）

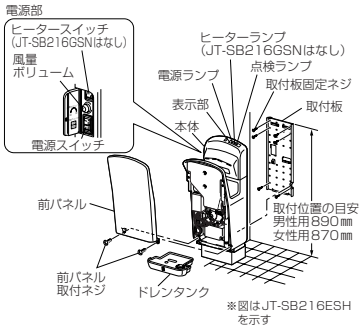


付属部品
取付板固定ネジ……6 本
（5 × 30 タッピング 1 種）
取付板……1 個
クリップ……1 個

据付け前のお願い

■**つぎのような場所には据付けないでください。**
（故障の原因になります）
- 0℃未満になる場所　• 40℃以上になる場所　• 塩害地域　• 結露する場所
- 乗りもの　• 直接水がかかる場所　• 腐食性ガス・中性ガス・還元性ガスが存在する場所
- 日光・強い光が当たる場所
（センサーが誤作動するおそれがあります）

■**据付位置について**

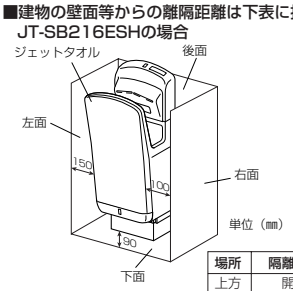


※図はJT-SB216ESH を示す

- 使用しやすいよう右図の位置に据付けてください。据付け高さが低いと床面掃除の際、水がかかりやすくなります。本体内部に水を吸い込んだ場合には、故障の原因や吸音材が吸湿して菌が繁殖する場合があります。
- JT-SB216GSNの場合本体下部に床および障害物等がある場合は最低150㎜以上あけてください。
- 本体左側面には電源操作部がありますので、左側面と壁との間は必ず150㎜以上あけてください。
- 本体右側面の近くに鏡および壁等のないようにしてください。手乾燥時、水滴が飛ぶことがあります。
- 人がぶつかり易い場所やドアー等があたる場所は避けてください。
- 製品を据付ける壁は、段差のない平らな場所を選び据付けてください。コンクリート壁以外の壁は補強を行った上で据付けてください。
- 水滴が飛ぶおそれがありますので、食材、食器等の近くには据付けないでください。
- 本体を埋め込んで据付けないでください。
- スタンド（別売品）を用いて据付ける場合も、壁に沿って設置してください。

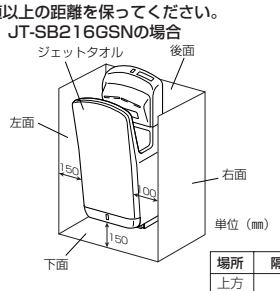
■**建物の壁面等からの離隔距離は下表に掲げる数値以上の距離を保ってください。**

JT-SB216ESHの場合



場所	隔離距離
上方	開放
左方	150㎜
右方	100㎜
前方	開放
後方	―
下方	90㎜

JT-SB216GSNの場合



場所	隔離距離
上方	開放
左方	150㎜
右方	100㎜
前方	開放
後方	―
下方	150㎜

据付方法

※説明の図は JT-SB216ESH を示す

■**電源は単相 200V をご使用ください。100V 電源をご使用になりますと、運転しません。**
■**電源ケーブルは、単線φ 2 またはφ 1.6 の VVF ケーブルを使用してください。**
（電源ケーブルが 11m を越える場合には、電圧降下を考慮して、極力φ 2 の電源ケーブルを使用してください。）

⚠警告

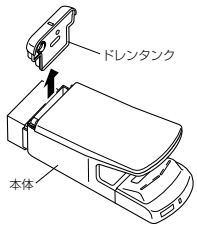
●**単相 200V を使用する**
間違った電源を使用すると火災、感電、故障の原因となります。

⚠注意

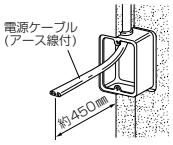
●**製品（電源ケーブル）に通電した状態で据付工事をしない**
感電するおそれがあります。

1

ドレンタンクを取りはずす。

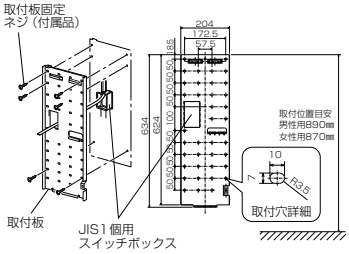


配線工事をする。
取付位置にスイッチボックス（JIS C 8340 1 個用スイッチボックスカバーなし）を埋め込み、電源ケーブル（アース線付）を配線する。
●スイッチボックスを使用しないと電源ケーブルが本体を押し出してうまく取り付けられません。



2

取付板を付属の取付板固定ネジ 6 本で壁に固定する。
●右図に示す取付板固定ネジの位置は推奨です。
●コンクリート壁に据付ける場合は、市販の金属製ネジプラグ（カールプラグ等）を使用して据付けてください。
●コンクリート壁以外の壁は補強を行った上で据付けてください。



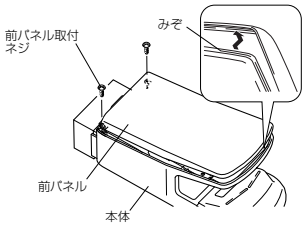
据付方法　つづき

3

1. 前パネルを取りはずす。

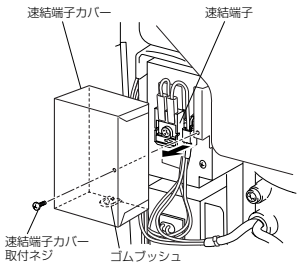
（1）ネジ（2本）をはずす。

（2）前パネルのみぞを本体からはずし、前パネルを取りはずす。



2. 速結端子カバーを取りはずす。

速結端子カバー取付ネジ（1本）をはずし速結端子カバーを手前に引き出す。

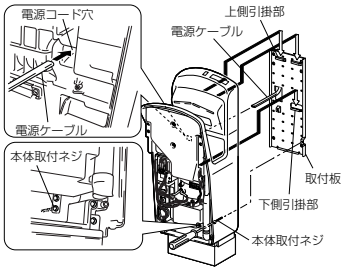


4

専用配線の電源ケーブルを本体内に引き込み、本体を固定する。

本体背面の電源コード穴に電源ケーブルを通しながら取付板の引掛部（3か所）に本体背面を引掛け、本体を壁側に軽く押しつけながら本体取付ネジ（本体内に仮固定）で固定する。

- 取付板の下側引掛部が外れていると本体取付ネジが締りません。
  下側引掛部を本体背面に確実に引掛けてください。



5

速結端子に結線する。（極性なし）

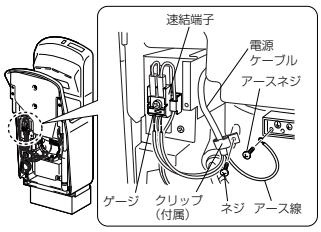
（1）速結端子にあるゲージに合わせて、電源被ふくを15㎜皮むきする。

（2）電源ケーブルを速結端子に確実に差し込む。

（3）速結端子右側にある本体固定のアースネジを利用してアース線を接続する。

（4）速結端子への結線が確実に差し込まれているか確認する。

（5）クリップ固定ネジ穴を使用して、付属のクリップで電源ケーブルを固定する。



6

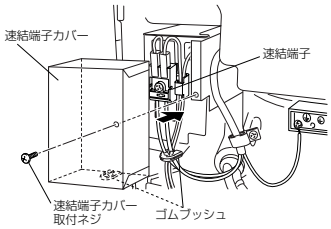
速結端子カバーを取り付ける。

（1）電源ケーブルと電線をゴムブッシュに通して速結端子カバー取付ネジで元通り本体にかぶせる。

（2）付属のクリップを電源ケーブルに取り付けて速結端子カバー取付ネジで固定する。

（3）電源ケーブルおよび電線をはさみ込んでいないことを確認する。

- 速結端子カバーの手前に電線があると、前パネルが取り付けられません。速結端子カバーの右側へ電線を移動してください。



7

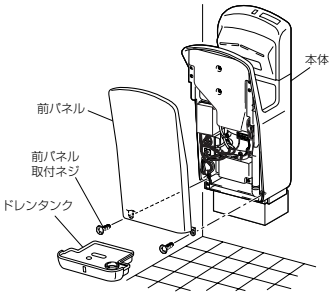
1. 前パネルを取り付ける。

（1）前パネルのみぞを本体にはめ込む。

（2）はずしたネジ（2本）で元通り本体に取り付ける。

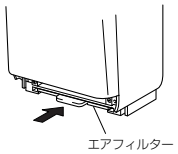
（3）前パネルが確実にはまっていることを確認する。

2. ドレンタンクを取り付ける。



3. エアフィルターが奥まで入っているか確認する。（JT-SB216GSNの場合）

■ JT-SB216GSNの場合



試運転

	手順	確認内容	チェック
1	電源電圧を確認する	単相200Vを使用していますか？	
2	漏電しゃ断器を「入」にする		
3	電源スイッチを「ON」にする	表示部の電源ランプは点灯していますか？	
4	手を入れて乾かす	風が吹き出していますか？	
5	手を入れたまま風量ボリュームを回す	風量が変わりますか？	
6	ヒータースイッチを入れる（JT-SB216ESHの場合）	表示部のヒーターランプは点灯していますか？温風は吹き出ていますか？（ヒータースイッチを入れた後、数分経過しないと温風は出ません。）（初期にはヒーター内の蓄熱部の油分やほこりが焼けた臭いがすることがありますが異常ではありません。）	
7		本体の据付けが確実で、振動・異常音はありませんか？	

＊手を入れた状態で電源スイッチを「ON」にしない。

＊表示部の点検ランプが点灯または点滅状態のときは、電源スイッチを一旦「OFF」にして、表示部のランプが全て消灯したのを確認した後（約40秒）に再度「ON」にしてください。

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508−8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。